

# 野の花を描く作家 助田茂蔵

季節がめぐるたびに美しく咲き誇る花たちには、一つ一つに命のものがたりがあります。花はいつの時代も私たちのそばにあり、生命を象徴する形として、私たちを魅了してきました。多くの芸術家も花たちの一瞬の美しさ、儚さをとらえ表現しようと、様々な作品を作り出してきました。

本展では、ひたむきに咲く野の花を愛し、生涯その姿を描き続け、野の花を描く作家として親しまれてきた孔版画家(故)助田茂蔵氏の版画、水彩画作品を中心に展示し、合わせて地元で手工芸に携わり活躍する女流作家たちの、「花」をテーマにした作品を紹介します。

この時季、野山には新しい生命の息吹に満ち溢れています。この展覧会が、ひたむきに咲く花々の美しさや、芸術家が生み出す唯一の作品に触れ、生きていることの喜びや感動、感謝の気持ちを思い起こす場となれば幸いです。「花」をテーマに多彩な作家によって生み出されるそれぞれのアートのものごとりを、西山公園の自然とともに楽しみたいと思います。

助田 茂蔵 (1915-2008) 福井県鯖江市出身。

謄写印刷所を営む傍ら独学で野山に咲く草花を描き孔版画、水彩画を制作。特に謄写版を駆使した多色刷り孔版画は評価が高い。1975年、画廊「越美館」にて初個展開催、以後個展多数開催。1982年、絵巻物『越の花三百六十五日』全6巻制作。1983年、第1回「野の花文化賞」受賞。1993年、『広報さばえ』に「さばえ草木譜」を6年間で100回連載。2002年、「鯖江市民文化賞」受賞。その他、画集、句集、私家本など多数発刊。挿絵、装丁、印刷、製本を手掛けた。2008年、逝去(享年92歳)。2012年、「助田茂蔵回顧展」(鯖江市)。以後、次男で摺師の助田篤郎氏による個展多数開催。



1



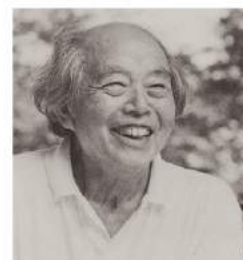
2



3



4



1.リンドウ(孔版画) 2.ユリノキ(孔版画) 3.ヒナゲン(孔版画) 4.ヨシノアザミ(孔版画)  
【表紙写真】 左上、フタバアオイ(孔版画) 右上、さとごくら(バラ科)天の川(孔版画)  
左下、ミヨウガ(孔版画) 右下、ヤマボウシ(水彩画)

## 女流作家



かとうこづえ  
和紙造形作家



佐々木 理恵  
染織家



鈴木 美央  
木彫刻家



高野 博代  
沈金師



谷口 舞子  
草木染アクセサリー  
造形作家



ますざわ なおこ  
カケラアート作家



もうり ゆかり  
陶芸家

## 同時開催

### 気がするにあーと展

「第12回鯖江市美術展」で公募した子どもから大人までのはがき大の作品展です。

入賞作品他全作品を展示します。

会 期：令和2年8月8日(土)～8月30日(日)

午前9時～午後5時 \*入館は午後4時30分まで

休館日：8月11日・17日・24日

場 所：鯖江市まなべの館 展示ホール1

観覧料：無料



鯖江市 まなべの館

(お問合せ)鯖江市教育委員会文化課 〒916-0024 福井県鯖江市長辰寺町1丁目9-20  
TEL 0778-51-5999 FAX 0778-54-7123 Email SC-ManabeYakata@city.sabae.fukui.jp

【交通のご案内】●福井鉄道福武線「西山公園駅」から徒歩3分 ●JR鯖江駅よりつじバス循環線「市役所」から徒歩3分